

(%)

	調査数	夫	妻	息子	娘	息子の妻	娘の夫	社会福祉施設やケア付き住宅への入居	地域の人々やボランティア	その他	わからない	無回答
全体	1563	18.2	29.0	1.2	11.8	3.5	-	18.4	1.8	1.5	10.4	4.4

【性別】

性別	女性	856	31.3	0.4	0.9	18.9	4.0	-	24.4	2.2	1.8	11.6	4.6
	男性	654	0.6	67.6	1.4	3.2	2.3	-	11.0	1.1	1.2	9.0	2.6

【性・年代別】

女性	20歳代	115	33.9	-	-	16.5	0.9	-	19.1	2.6	2.6	20.9	3.5
	30歳代	148	38.5	-	1.4	15.5	0.7	-	21.6	0.7	1.4	14.9	5.4
	40歳代	157	30.6	1.3	-	18.5	0.6	-	32.5	1.9	0.6	8.9	5.1
	50歳代	197	30.5	-	1.5	12.7	5.1	-	33.5	3.0	2.0	8.1	3.6
	60歳以上	238	26.5	0.4	1.3	27.7	8.8	-	16.0	2.5	2.1	9.7	5.0
男性	20歳代	83	-	49.4	1.2	3.6	1.2	-	16.9	1.2	3.6	21.7	1.2
	30歳代	87	1.1	59.8	1.1	2.3	-	-	13.8	-	-	16.1	5.7
	40歳代	109	1.8	68.8	0.9	1.8	-	-	11.0	0.9	1.8	10.1	2.8
	50歳代	174	-	71.8	0.6	2.3	1.1	-	12.6	1.7	1.1	6.3	2.3
	60歳以上	200	0.5	74.0	2.5	5.0	6.0	-	6.0	1.0	0.5	2.5	2.0

【性・世帯構成別】

女性	一人暮らし	56	7.1	-	1.8	17.9	3.6	-	37.5	3.6	5.4	19.6	3.6
	一世代世帯(夫婦だけ)	176	46.6	-	0.6	14.2	5.7	-	18.2	2.3	0.6	8.0	4.0
	二世帯世帯(親と子)	432	31.5	0.5	1.2	20.4	1.6	-	25.7	2.1	1.2	12.5	3.5
	三世帯世帯(親と子と孫)	169	22.5	0.6	0.6	22.5	7.7	-	23.7	1.8	3.0	10.7	7.1
	その他の世帯	18	33.3	-	-	5.6	5.6	-	27.8	5.6	5.6	5.6	11.1
男性	一人暮らし	36	-	25.0	2.8	5.6	8.3	-	22.2	-	2.8	27.8	5.6
	一世代世帯(夫婦だけ)	151	1.3	81.5	1.3	2.0	0.7	-	8.6	0.7	-	2.0	2.0
	二世帯世帯(親と子)	331	0.6	64.4	0.9	2.7	1.2	-	13.0	1.5	1.5	11.5	2.7
	三世帯世帯(親と子と孫)	116	-	74.1	2.6	5.2	5.2	-	5.2	-	0.9	5.2	1.7
	その他の世帯	16	-	56.3	-	6.3	6.3	-	12.5	6.3	6.3	6.3	-

【地域別】

地域区分	県北地域	798	16.9	28.9	1.3	11.7	2.5	-	19.7	2.4	1.6	10.7	4.4
	県央地域	557	19.2	29.6	1.1	11.5	3.2	-	18.9	1.4	1.4	9.7	3.9
	県東地域	65	21.5	29.2	-	12.3	9.2	-	12.3	-	-	12.3	3.1
	県南地域	104	17.3	26.9	1.0	17.3	7.7	-	12.5	1.0	1.9	10.6	3.8

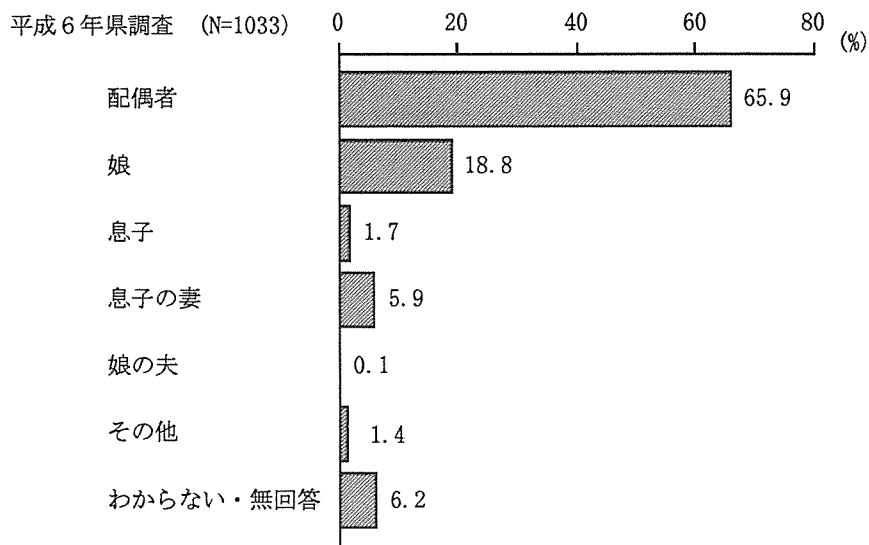
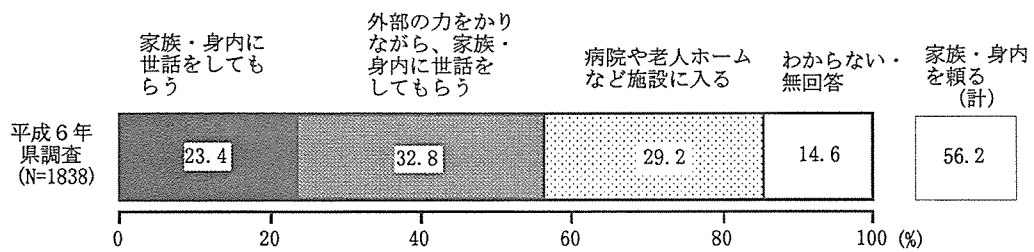
【性・性別役割分担意識別】

女性	そう思う	152	35.5	-	0.7	23.0	9.9	-	15.1	2.0	2.6	5.9	5.3
	そう思わない	347	31.7	0.3	0.9	12.1	2.9	-	28.8	3.7	1.7	12.7	5.2
	どちらともいえない・わからない	344	29.1	0.6	1.2	23.3	2.6	-	24.1	0.9	1.5	13.1	3.8
男性	そう思う	191	0.5	73.8	3.1	1.6	3.1	-	10.5	0.5	1.6	3.1	2.1
	そう思わない	198	1.0	61.1	0.5	4.0	3.5	-	13.6	2.5	2.0	9.6	2.0
	どちらともいえない・わからない	256	0.4	67.6	0.8	3.9	0.4	-	9.4	0.4	0.4	13.3	3.5

【前回調査との比較】

〈前回調査〉では、「もしも、あなたが寝たきりの状態になった場合、どうなさいますか。」(○は1つ)と尋ねている。「外部の力をかりながら」を含めると、家族・身内に介護を希望する割合は56.2%、「病院や老人ホームなど施設に入る」は29.2%であった。今回調査では、介護保険サービスの利用を前提としているためか、「社会福祉施設やケア付き住宅への入居」は18.4%と〈前回〉よりも減少している。

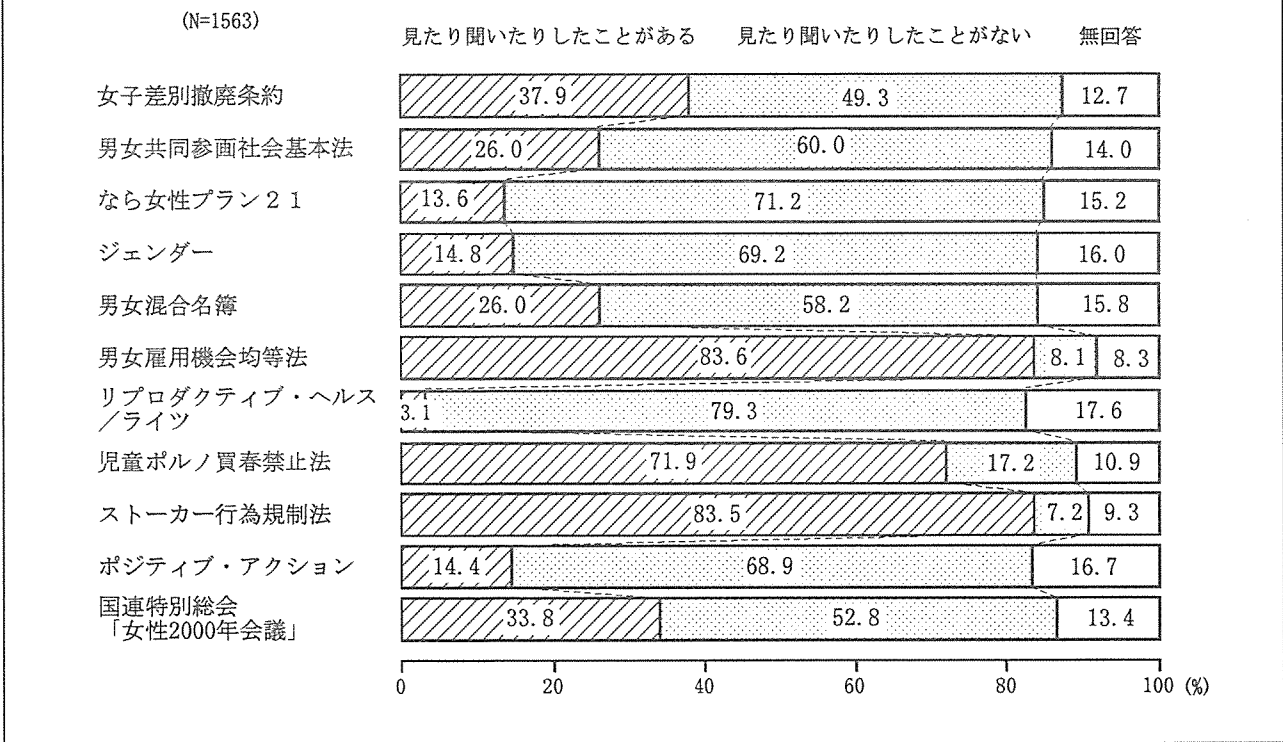
また、〈前回調査〉では、「『家族・身内に世話をしてもらおう』『外部の力をかりながら、家族・身内に世話をしてもらおう』と答えた人に)その際、主に家族のどなたに世話をしてもらいたいと思いますか」(○は1つ)と尋ねており、「配偶者」が65.9%、「娘」は18.8%であった。今回とは設問がかなり異なるので、完全な比較は無理であるが、依然として「妻」や「娘」など女性に期待する傾向が表れている。〈ライフスタイル調査〉では、「家庭における役割について、男性がどの程度関わるべきだと思いますか」と尋ねており、「親の介護」については、「積極的に関わるべきだ」が45.1%、「ある程度積極的に関わるべきだ」が48.2%と、男性に親の介護の役割を期待する人は90%以上となっている。



7. 男女共同参画について

7-1. 関連用語の認知度

問 19 あなたは、次のような言葉を見たり聞いたりしたことがありますか。アからサのそれぞれについてお答えください。



◇ 「男女雇用機会均等法」「ストーカー行為規制法」「児童ポルノ買春禁止法」については認知度が7～8割以上。

女性の人権や男女共同参画に関する11の用語について尋ねたところ、認知度が最も高いのは「男女雇用機会均等法」「ストーカー行為規制法」でいずれも80%強、次いで「児童ポルノ買春禁止法」が約70%と、マスメディア等で最近取り上げられることの多い問題に関連した用語の認知度がきわめて高い。これら3項目と比べると、他の認知度は40%以下にとどまっている。

【性別】

「男女雇用機会均等法」「ストーカー行為規制法」「児童ポルノ買春禁止法」などの上位項目と「女子差別撤廃条約」「男女共同参画社会基本法」などは、男性の認知度の方が高い。「男女混合名簿」については、女性の認知度の方が高い。

【性・年代別】

「男女雇用機会均等法」は、女性の20歳代及び男性の20～50歳代で認知度が90%を超えているが、特に男性の50歳代では97.1%と非常に高い。また、「ストーカー行為規制法」は、若い年代ほど認知度が高い。「男女雇用機会均等法」「ストーカー行為規制法」「児童ポルノ買春禁止法」などの上位項目は、男性の50歳代の認知度が比較的高い。また、「男女混合名簿」は、

女性の40歳代で43.9%と、小・中学生を子どもに持つ人が多い世代での認知度が高い。

【全国調査との比較】

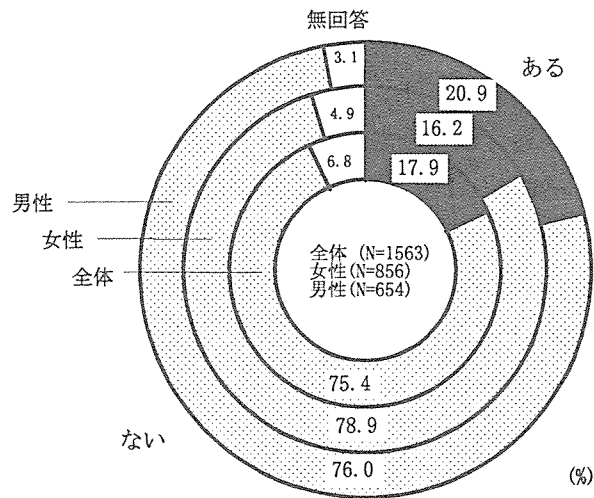
〈全国調査〉では、「男女共同参画社会基本法」24.7%、「ポジティブ・アクション」13.6%、「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」3.4%、「ジェンダー」11.1%などとなっており、各用語の認知度は今回調査とほぼ同程度となっている。

		(%)											
		調査数	女子差別撤廃条約	男女共同参画社会基本法	なら女性プラン21	ジェンダー	男女混合名簿	男女雇用機会均等法	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ	児童ポルノ買春禁止法	ストーカー行為規制法	ポジティブ・アクション	00年国連特別総会「女性20」
全体		1563	37.9	26.0	13.6	14.8	26.0	83.6	3.1	71.9	83.5	14.4	33.8
【性別】													
性別	女性	856	35.0	23.0	14.3	15.3	30.0	83.1	3.0	68.6	83.5	15.0	33.4
	男性	654	44.0	31.8	13.5	15.3	22.8	90.2	3.5	81.3	89.3	14.5	36.4
【性・年代別】													
女性	20歳代	115	40.0	15.7	19.1	25.2	28.7	93.9	2.6	71.3	92.2	19.1	20.9
	30歳代	148	34.5	22.3	17.6	18.2	32.4	88.5	4.1	76.4	92.6	18.9	29.1
	40歳代	157	35.0	21.7	12.1	22.3	43.9	88.5	2.5	71.3	89.8	19.7	31.8
	50歳代	197	37.1	28.4	13.2	14.2	33.5	89.3	3.0	76.6	88.3	16.2	43.1
	60歳以上	238	31.1	23.1	11.8	4.6	16.8	65.5	2.9	53.8	65.5	6.3	34.9
男性	20歳代	83	49.4	24.1	16.9	26.5	24.1	96.4	1.2	83.1	96.4	12.0	30.1
	30歳代	87	35.6	26.4	17.2	17.2	28.7	90.8	3.4	79.3	93.1	9.2	27.6
	40歳代	109	44.0	27.5	11.0	18.3	26.6	92.7	9.2	83.5	89.0	22.0	25.7
	50歳代	174	44.8	35.6	15.5	14.4	24.7	97.1	2.3	90.8	94.8	17.8	50.0
	60歳以上	200	45.0	36.5	10.0	9.0	16.0	80.5	2.5	72.5	80.5	11.0	37.0

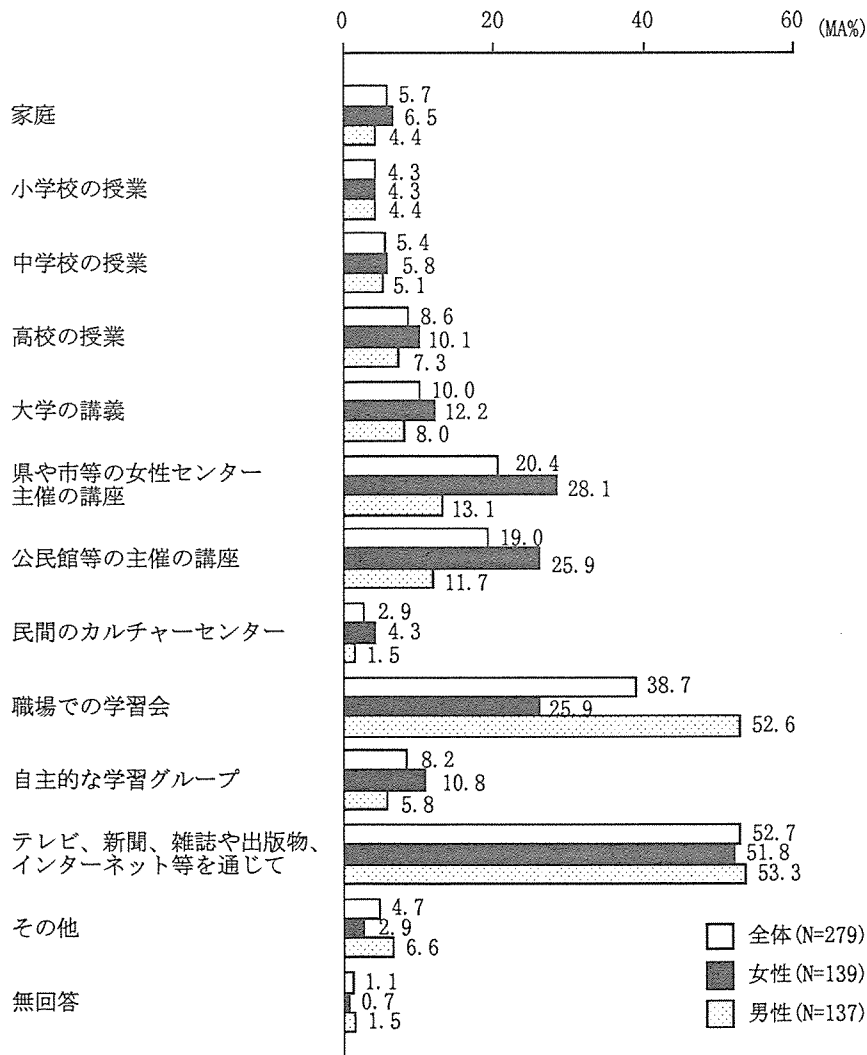
※数字は各用語の認知度

7-2. 男女共同参画に関する学習状況

問 20 あなたは、女性の人権や男女共同参画などについて、学んだり知識を深めたりしたことがありますか。



問 20-1 【問 20 で「1. ある」と回答された方のみにおたずねします】
学習をされたのはどこですか。(〇はいくつでも)



◇ 学習経験者は2割弱。学習の場は「メディアを通じて」「職場での学習会」が多い。

「女性の人権や男女共同参画に関する学習経験」は、全体の17.9%が「ある」、75.4%が「ない」と回答している。

性別にみると、学習経験者の割合は女性16.2%、男性20.9%で、男性が女性を若干上回っている。

また、学習の場としては、「テレビ、新聞、雑誌や出版物、インターネット等のメディアを通じて」が52.7%と最も多く、次いで「職場での学習会」が38.7%となっている。また、「県や市等の女性センター主催の講座」「公民館等の主催の講座」は、ともに約20%となっている。

<学習経験の有無>

【性・年代別】

学習経験者の割合は、いずれの年代においても男性の方が高く、男性の20歳代では28.9%と約3割になっている。女性では、20歳代が20.0%と最も多く、次いで30歳代18.2%、40歳代17.8%などとなっている。

【性・職業別】

学習経験者は、男女ともフルタイムが最も高く、女性33.6%、男性27.9%となっている。これに対し、男性の自営業・家族従業、女性のパートタイマーでは、学習経験者が10%より少ない。

		(%)			
		ある	ない	無回答	
		調査数			
全	体	1563	17.9	75.4	6.8

【性別】

性別		調査数	ある	ない	無回答
性別	女 性	856	16.2	78.9	4.9
	男 性	654	20.9	76.0	3.1

【性・年代別】

性	年代	調査数	ある	ない	無回答
女 性	20歳代	115	20.0	79.1	0.9
	30歳代	148	18.2	80.4	1.4
	40歳代	157	17.8	79.6	2.5
	50歳代	197	15.7	79.2	5.1
	60歳以上	238	12.2	77.3	10.5
男 性	20歳代	83	28.9	69.9	1.2
	30歳代	87	21.8	75.9	2.3
	40歳代	109	21.1	77.1	1.8
	50歳代	174	21.8	75.3	2.9
	60歳以上	200	16.5	79.0	4.5

【性・職業別】

性	職業	調査数	ある	ない	無回答
女 性	自営業・家族従業	81	14.8	79.0	6.2
	フルタイム	149	33.6	65.1	1.3
	パートタイマー	156	9.0	87.8	3.2
	その他、無職	408	13.0	82.1	4.9
男 性	自営業・家族従業	114	7.0	90.4	2.6
	フルタイム	323	27.9	69.0	3.1
	パートタイマー、その他、無職	172	20.3	76.7	2.9

<学習の場>

【性別】

男女とも、「テレビ、新聞、雑誌や出版物、インターネット等のメディアを通じて」が過半数で最も多い。また、男性では「職場での学習会」が 52.6%と、「メディア」と「職場」の2項目に集中している。一方、女性では、「県や市等の女性センター主催の講座」が 28.1%、「公民館等の主催の講座」が 25.9%（「職場での学習会」と同率）と、講座への参加が男性よりも多くなっている。

【性・年代別】

「テレビ、新聞、雑誌や出版物、インターネット等のメディアを通じて」は、男女とも 40 歳代以上で 50%を超えており、女性の 50 歳代では 67.7%と特に高く、男性の 50 歳代以上でも 60%強となっている。「職場での学習会」については、男性の 30~50 歳代及び女性の 40 歳代で 60~70%となっている。また、「県や市等の女性センター主催の講座」への参加は、30 歳代以上の女性で多く、特に女性の 50 歳代では 41.9%と高くなっている。男女とも 20 歳代では、「学校の授業や講義」が、他の年代よりも高くなっている。

【性・職業別】

「職場での学習会」は、男女ともフルタイムが最も高く、女性 66.0%、男性 63.3%となっている。

(MA%)

	調査数	家庭	小学校の授業	中学校の授業	高校の授業	大学の講義	県や市等の女性センター主催の講座	公民館等の主催の講座	民間のカルチャーセンター	職場での学習会	自主的な学習グループ	テレビ、新聞、雑誌や出版物、インターネット等を通じて	その他	無回答
全体	279	5.7	4.3	5.4	8.6	10.0	20.4	19.0	2.9	38.7	8.2	52.7	4.7	1.1

【性別】

性別	調査数	家庭	小学校の授業	中学校の授業	高校の授業	大学の講義	県や市等の女性センター主催の講座	公民館等の主催の講座	民間のカルチャーセンター	職場での学習会	自主的な学習グループ	テレビ、新聞、雑誌や出版物、インターネット等を通じて	その他	無回答
女性	139	6.5	4.3	5.8	10.1	12.2	28.1	25.9	4.3	25.9	10.8	51.8	2.9	0.7
男性	137	4.4	4.4	5.1	7.3	8.0	13.1	11.7	1.5	52.6	5.8	53.3	6.6	1.5

【性・年代別】

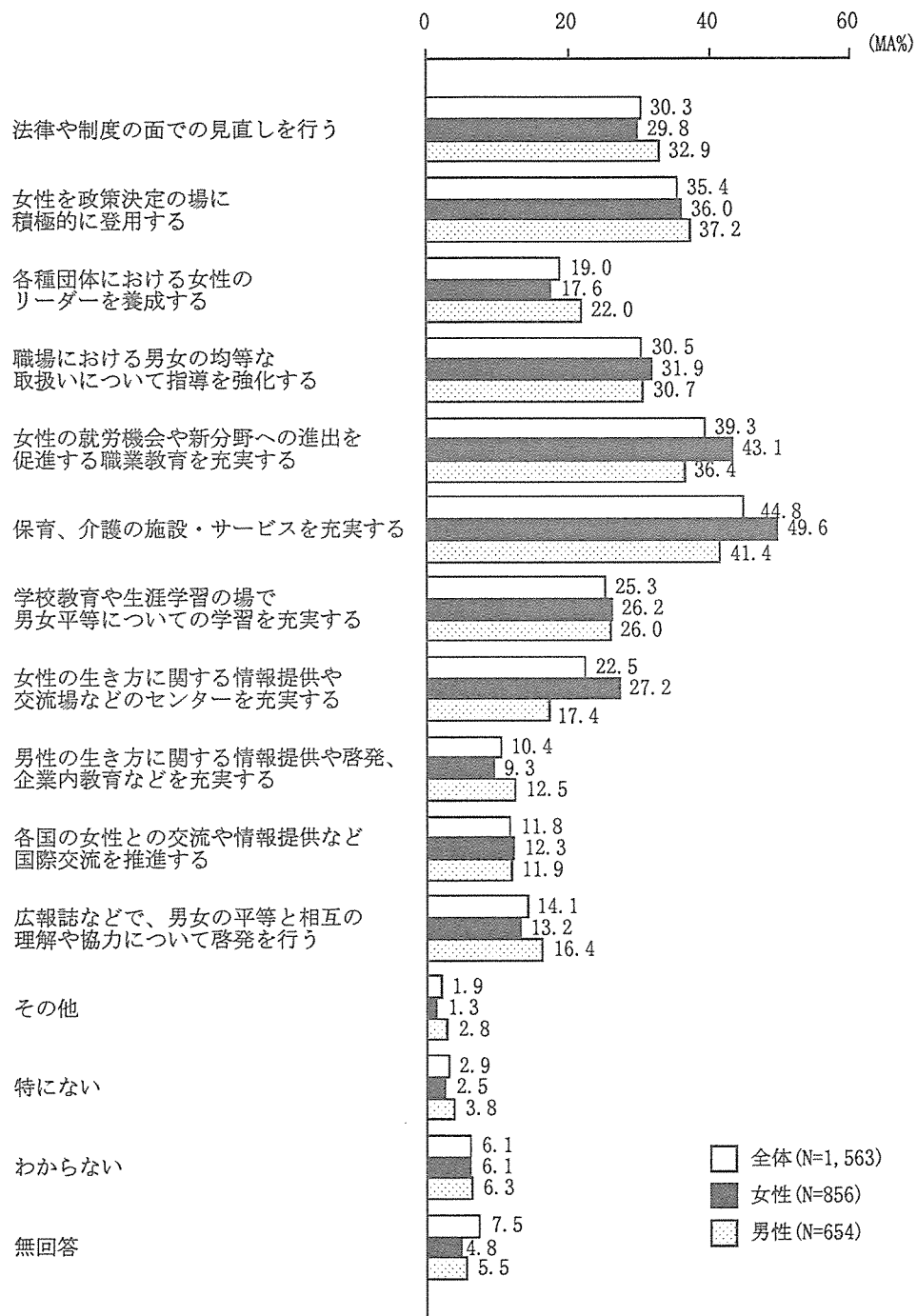
性別	年代	調査数	(MA%)												
			家庭	小学校の授業	中学校の授業	高校の授業	大学の講義	県や市等の女性センター主催の講座	公民館等の主催の講座	民間のカルチャーセンター	職場での学習会	自主的な学習グループ	テレビ、新聞、雑誌や出版物、インターネット等を通じて	その他	無回答
女性	20歳代	23	8.7	13.0	17.4	39.1	47.8	4.3	-	-	21.7	-	39.1	4.3	-
	30歳代	27	14.8	3.7	7.4	11.1	14.8	29.6	18.5	-	25.9	7.4	48.1	3.7	-
	40歳代	28	3.6	-	-	3.6	-	32.1	17.9	-	57.1	14.3	50.0	3.6	-
	50歳代	31	3.2	-	-	-	6.5	41.9	32.3	16.1	19.4	22.6	67.7	3.2	-
	60歳以上	29	3.4	6.9	6.9	3.4	-	27.6	55.2	3.4	3.4	6.9	51.7	-	3.4
男性	20歳代	24	-	12.5	16.7	25.0	29.2	4.2	4.2	-	29.2	4.2	37.5	12.5	-
	30歳代	19	10.5	5.3	5.3	5.3	5.3	10.5	5.3	-	57.9	15.8	36.8	5.3	-
	40歳代	23	4.3	8.7	8.7	13.0	8.7	17.4	8.7	-	60.9	4.3	52.2	8.7	4.3
	50歳代	38	2.6	-	-	-	2.6	15.8	7.9	2.6	71.1	2.6	63.2	2.6	-
	60歳以上	33	6.1	-	-	-	-	15.2	27.3	3.0	39.4	6.1	63.6	6.1	3.0

【性・職業別】

性別	職業	調査数	(MA%)												
			家庭	小学校の授業	中学校の授業	高校の授業	大学の講義	県や市等の女性センター主催の講座	公民館等の主催の講座	民間のカルチャーセンター	職場での学習会	自主的な学習グループ	テレビ、新聞、雑誌や出版物、インターネット等を通じて	その他	無回答
女性	自営業・家族従業	12	16.7	8.3	8.3	25.0	-	25.0	50.0	8.3	-	-	58.3	8.3	-
	フルタイム	50	2.0	-	2.0	6.0	8.0	28.0	12.0	6.0	66.0	12.0	50.0	2.0	-
	パートタイマー	14	7.1	-	7.1	7.1	21.4	21.4	21.4	-	-	14.3	57.1	-	-
	その他、無職	53	7.5	9.4	7.5	13.2	18.9	28.3	30.2	3.8	5.7	11.3	54.7	3.8	1.9
男性	自営業・家族従業	8	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5	-	12.5	-	37.5	-	50.0	12.5	12.5
	フルタイム	90	3.3	1.1	1.1	4.4	4.4	15.6	7.8	1.1	63.3	7.8	57.8	4.4	-
	パートタイマー、その他、無職	35	2.9	11.4	14.3	14.3	17.1	8.6	20.0	2.9	25.7	2.9	45.7	11.4	2.9

7-3. 男女共同参画社会を実現するために行政に望むこと

問 21 男女共同参画社会を実現するため、今後、行政にどのようなことを望みますか。次の中から主なものをお答えください。(〇はいくつでも)



◇ 「保育、介護の施設・サービスの充実」「女性の職業教育の充実」「政策決定の場への女性の登用」が上位。

行政への要望として最も多く挙げられたのは「保育、介護の施設・サービスを充実する」で44.8%、次いで「女性の就労機会や新分野への進出を促進する職業教育を充実する」が39.3%、「女性を政策決定の場に積極的に登用する」が35.4%となっている。このほか、「職場におけ

る男女の均等な取扱いについて指導を強化する」「法律や制度の面での見直しを行う」がともに約 30%となっている。

【性別】

「保育、介護の施設・サービスを充実する」「女性の就労機会や新分野への進出を促進する職業教育を充実する」の上位 2 項目は、女性が 49.6%、43.1%と高く、男性をそれぞれ 8.2 ポイント、6.7 ポイント上回っている。「女性を政策決定の場に積極的に登用する」については男女による差はほとんどみられず、ともに 30%強である。

【性・年代別】

「保育、介護の施設・サービスを充実する」は、女性の 20 歳代で 60.9%と最も高く、30～40 歳代の女性及び 30 歳代の男性では 50%強となっている。「女性の就労機会や新分野への進出を促進する職業教育を充実する」は、女性の 30 歳代及び女性の 50 歳代で 50%近くになっている。

【性・職業別】

男女ともフルタイムは、「保育、介護の施設・サービスを充実する」が他の職業と比べて高くなっているが、女性ではパートタイマー及び自営業・家族従業でも約 50%と高く、フルタイムとの差は比較的小さい。また、「女性の就労機会や新分野への進出を促進する職業教育を充実する」は、女性のパートタイマーで 48.1%と高い。

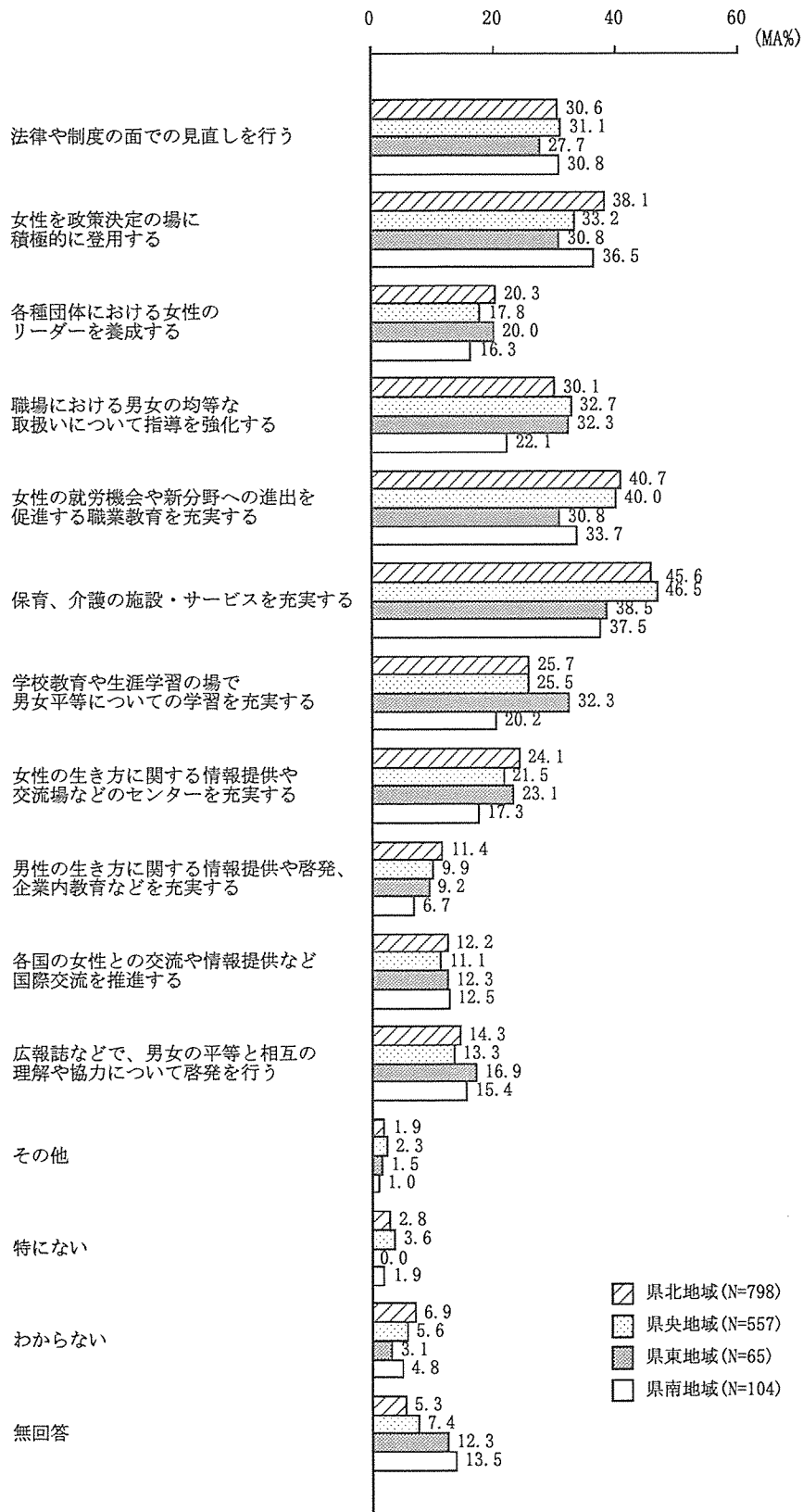
【性・未既婚・子どもの有無別】

「保育、介護の施設・サービスを充実する」は、女性では未婚・既婚による差がほとんどないが、男性では既婚が未婚を上回っている。また、「女性の就労機会や新分野への進出を促進する職業教育を充実する」は、女性の既婚で子どものいる人が 44.8%と、女性の既婚で子どものいない人 (35.0%) を上回っている。

【地域別】

「保育、介護の施設・サービスを充実する」や「女性の就労機会や新分野への進出を促進する職業教育を充実する」は、県北、県央地域が県東、県南地域を上回っている。

【男女共同参画社会を実現するために行政に望むこと（地域別）】



(MA%)

	調査数	直しを行う	法律や制度の面での見直しを行う	女性を政策的に活用する	各種団体における女性のリーダーを養成する	指導を強化する	職場における男女の均等な取扱いについて指	職業教育を充実する	女性の就業機会や新分野への進出を促進する	保育、介護の施設・サービスの充実	学校の教育や生涯学習の場での男女平等について	情報の提供や交流場などのセンターを充実する	女性の生き方に関する情報提供や啓発、企業内教育などを充実する	男性の生き方に関する情報提供など、国際交流を推進する	各国の女性との交流や情報提供など、国際交流を推進する	広報誌などで、男女の平等と相互の理解や協力について啓発を行う	その他	特にな	わからない	無回答
全体	1563	30.3	35.4	19.0	30.5	39.3	44.8	25.3	22.5	10.4	11.8	14.1	1.9	2.9	6.1	7.5				

【性別】

性別	調査数	直しを行う	法律や制度の面での見直しを行う	女性を政策的に活用する	各種団体における女性のリーダーを養成する	指導を強化する	職場における男女の均等な取扱いについて指	職業教育を充実する	女性の就業機会や新分野への進出を促進する	保育、介護の施設・サービスの充実	学校の教育や生涯学習の場での男女平等について	情報の提供や交流場などのセンターを充実する	女性の生き方に関する情報提供や啓発、企業内教育などを充実する	男性の生き方に関する情報提供など、国際交流を推進する	各国の女性との交流や情報提供など、国際交流を推進する	広報誌などで、男女の平等と相互の理解や協力について啓発を行う	その他	特にな	わからない	無回答
女性	856	29.8	36.0	17.6	31.9	43.1	49.6	26.2	27.2	9.3	12.3	13.2	1.3	2.5	6.1	4.8				
男性	654	32.9	37.2	22.0	30.7	36.4	41.4	26.0	17.4	12.5	11.9	16.4	2.8	3.8	6.3	5.5				

【性・年代別】

性	年代	調査数	直しを行う	法律や制度の面での見直しを行う	女性を政策的に活用する	各種団体における女性のリーダーを養成する	指導を強化する	職場における男女の均等な取扱いについて指	職業教育を充実する	女性の就業機会や新分野への進出を促進する	保育、介護の施設・サービスの充実	学校の教育や生涯学習の場での男女平等について	情報の提供や交流場などのセンターを充実する	女性の生き方に関する情報提供や啓発、企業内教育などを充実する	男性の生き方に関する情報提供など、国際交流を推進する	各国の女性との交流や情報提供など、国際交流を推進する	広報誌などで、男女の平等と相互の理解や協力について啓発を行う	その他	特にな	わからない	無回答
女性	20歳代	115	30.4	32.2	12.2	40.9	40.9	60.9	27.8	21.7	11.3	11.3	10.4	-	-	2.6	2.6				
	30歳代	148	27.7	33.8	10.8	35.1	46.6	51.4	22.3	22.3	4.1	15.5	4.7	2.7	2.0	5.4	1.4				
	40歳代	157	36.9	40.8	22.9	30.6	41.4	52.2	29.3	35.0	13.4	14.6	16.6	1.3	2.5	5.1	2.5				
	50歳代	197	27.4	41.6	17.8	31.0	49.7	43.7	23.4	29.9	11.2	8.1	15.2	1.5	3.0	2.0	7.1				
	60歳以上	238	28.2	31.1	21.0	27.3	37.8	46.6	28.2	25.2	7.6	12.6	16.0	0.8	3.4	12.2	7.6				
男性	20歳代	83	31.3	41.0	22.9	22.9	41.0	32.5	13.3	18.1	8.4	7.2	10.8	7.2	3.6	4.8	3.6				
	30歳代	87	33.3	32.2	12.6	29.9	26.4	51.7	27.6	9.2	14.9	5.7	14.9	6.9	6.9	6.9	1.1				
	40歳代	109	29.4	33.9	23.9	31.2	36.7	45.9	29.4	17.4	12.8	14.7	9.2	2.8	3.7	5.5	5.5				
	50歳代	174	36.2	38.5	21.8	29.3	39.1	42.0	29.9	16.7	12.6	13.8	16.1	1.1	2.3	4.6	5.7				
	60歳以上	200	32.5	38.5	25.0	35.5	36.5	38.0	25.5	21.5	13.0	13.5	23.5	0.5	4.0	8.5	7.5				

【性・職業別】

性	職業	調査数	直しを行う	法律や制度の面での見直しを行う	女性を政策的に活用する	各種団体における女性のリーダーを養成する	指導を強化する	職場における男女の均等な取扱いについて指	職業教育を充実する	女性の就業機会や新分野への進出を促進する	保育、介護の施設・サービスの充実	学校の教育や生涯学習の場での男女平等について	情報の提供や交流場などのセンターを充実する	女性の生き方に関する情報提供や啓発、企業内教育などを充実する	男性の生き方に関する情報提供など、国際交流を推進する	各国の女性との交流や情報提供など、国際交流を推進する	広報誌などで、男女の平等と相互の理解や協力について啓発を行う	その他	特にな	わからない	無回答
女性	自営業・家族従業	81	22.2	33.3	22.2	22.2	39.5	48.1	21.0	40.7	4.9	13.6	14.8	1.2	2.5	1.2	6.2				
	フルタイム	149	34.2	43.0	19.5	43.6	40.9	53.0	28.9	32.2	15.4	16.8	18.8	2.0	0.7	0.7	5.4				
	パートタイマー	156	29.5	34.6	12.2	30.8	48.1	49.4	27.6	24.4	9.0	9.6	10.3	1.3	2.6	3.2	4.5				
	その他、無職	408	31.9	36.0	17.6	32.1	43.4	50.7	27.0	26.0	9.1	12.3	12.7	1.2	2.9	9.1	2.5				
男性	自営業・家族従業	114	29.8	27.2	21.9	27.2	32.5	38.6	21.1	14.9	10.5	8.8	14.0	2.6	7.0	5.3	7.9				
	フルタイム	323	32.8	40.2	21.7	30.0	37.8	44.6	26.6	16.4	12.1	9.9	13.3	3.4	4.0	5.9	3.7				
	パートタイマー、その他、無職	172	37.8	39.5	25.6	35.5	39.0	36.6	29.7	20.9	14.0	16.3	22.1	1.7	1.2	6.4	7.0				

【性・未婚・子どもの有無別】

性	婚姻・子ども	調査数	直しを行う	法律や制度の面での見直しを行う	女性を政策的に活用する	各種団体における女性のリーダーを養成する	指導を強化する	職場における男女の均等な取扱いについて指	職業教育を充実する	女性の就業機会や新分野への進出を促進する	保育、介護の施設・サービスの充実	学校の教育や生涯学習の場での男女平等について	情報の提供や交流場などのセンターを充実する	女性の生き方に関する情報提供や啓発、企業内教育などを充実する	男性の生き方に関する情報提供など、国際交流を推進する	各国の女性との交流や情報提供など、国際交流を推進する	広報誌などで、男女の平等と相互の理解や協力について啓発を行う	その他	特にな	わからない	無回答
女性	既婚	703	30.6	36.3	18.5	30.6	43.8	50.8	26.3	28.3	9.7	11.5	13.8	1.6	2.6	6.4	4.0				
	子ども有り	638	29.8	37.5	19.1	30.1	44.8	51.1	26.5	28.8	10.3	11.6	14.4	1.4	2.5	6.3	3.9				
	子どもはいない	60	41.7	25.0	13.3	38.3	35.0	50.0	23.3	25.0	3.3	11.7	8.3	3.3	3.3	5.0	3.3				
	未婚	126	29.4	38.1	12.7	42.9	42.9	50.0	28.6	24.6	7.9	19.0	11.1	-	0.8	2.4	4.0				
男性	既婚	525	33.5	37.5	23.6	31.2	37.5	42.7	27.4	17.7	14.1	13.1	17.5	1.9	4.0	6.3	5.1				
	子ども有り	482	32.6	37.6	24.1	31.3	37.6	42.1	27.8	17.4	13.9	13.1	17.8	1.7	4.1	6.4	5.2				
	子どもはいない	42	42.9	38.1	19.0	31.0	38.1	50.0	23.8	21.4	16.7	14.3	14.3	4.8	2.4	4.8	4.8				
	未婚	117	32.5	38.5	15.4	29.1	32.5	36.8	20.5	16.2	6.8	6.0	11.1	6.8	2.6	5.1	6.0				

【地域別】

地域区分	調査数	直しを行う	法律や制度の面での見直しを行う	女性を政策的に活用する	各種団体における女性のリーダーを養成する	指導を強化する	職場における男女の均等な取扱いについて指	職業教育を充実する	女性の就業機会や新分野への進出を促進する	保育、介護の施設・サービスの充実	学校の教育や生涯学習の場での男女平等について	情報の提供や交流場などのセンターを充実する	女性の生き方に関する情報提供や啓発、企業内教育などを充実する	男性の生き方に関する情報提供など、国際交流を推進する	各国の女性との交流や情報提供など、国際交流を推進する	広報誌などで、男女の平等と相互の理解や協力について啓発を行う	その他	特にな	わからない	無回答
県北地域	798	30.6	38.1	20.3	30.1	40.7	45.6	25.7	24.1	11.4	12.2	14.3	1.9	2.8	6.9	5.3				
県央地域	557	31.1	33.2	17.8	32.7	40.0	46.5	25.5	21.5	9.9	11.1	13.3	2.3	3.6	5.6	7.4				
県東地域	65	27.7	30.8	20.0	32.3	30.8	38.5	32.3	23.1	9.2	12.3	16.9	1.5	-	3.1	12.3				
県南地域	104	30.8	36.5	16.3	22.1	33.7	37.5	20.2	17.3	6.7	12.5	15.4	1.0	1.9	4.8	13.5				

【全国調査との比較】

〈全国調査〉と比べると、「女性の就労機会や新分野への進出を促進する職業教育を充実する」「女性を政策決定の場に積極的に登用する」が、県調査の回答が〈全国〉をそれぞれが 5.8 ポイント、4.7 ポイント上回っており、「就労機会の充実」や「政策決定の場への女性の参画促進」に対する要望が高い。

